

1. 2. 3. 4.  
くまけと だかがわ かれれに れししか したこが こねのや こを世け ろぼのる いまや主 またみの 主きよみ にあをや

さい照て さもらこ げんてすそ 主主よし ににきう すよたり べろねの てこをた さばまま さるきも げるての

悔く 悔た主目 ゆりを指さ るほほし ことめて とぞまは ななつし しんらん やひ世な すび々ど

きけにて (やひ世な) すび々ど (きけ)にて わみせし れこいと らえとう (わみせし) れこいと (らえとう) たあかこ たまがの



自分の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の命を憎む者は、それを保って永遠の命に至るであろう。  
ヨハネ 12:25

5

むなしきこの世に なおも生くるは  
われらの救い<sup>すく</sup>を <sup>と</sup> 遂ぐるためなり。  
見ゆるものは ついに<sup>き</sup>消え去らん。:,:

6

われらの身と魂<sup>み たま</sup> 日々<sup>ひび</sup>主にささげ  
すべての苦<sup>くる</sup>しみ <sup>よろこ</sup>喜び<sup>お</sup>負わば  
神はつねに <sup>とも</sup>共に<sup>とも</sup>ましたもう。:,:

7

主イエスにすべてを <sup>ささ</sup>捧げまつりて  
<sup>まず</sup>貧しき神の子 いよよ愛さば  
神はいかに 喜びたまわん。:,:

8

たが おもに <sup>にな</sup>互いの重荷を 担いあいなば  
日々われらの愛 <sup>ま</sup>さらに増すらん。  
<sup>はげ</sup>

9

ち きょうだい また む  
小さき兄弟が 全きに向かい  
つと あゆ たす わざ  
努むる歩みを 助くる業は  
<sup>めぐ</sup>いかに恵み <sup>み</sup>満つる業ならん! :,:

10

世に愛の無<sup>な</sup>くば すべては<sup>むな</sup>空し  
主は<sup>わす</sup>忘れ去られ <sup>かな</sup>悲しみ<sup>つ</sup>尽きず  
人は<sup>かわ</sup>渴き いよよつまずかん。:,:

11

主に喜びもて <sup>つか</sup>仕うるために  
<sup>ふる</sup>奮いたたざれば <sup>ほのお</sup>愛の炎を  
<sup>しし</sup>獅子のごとき <sup>てき</sup>敵は消し去らん。:,:  
<sup>け</sup>

12

やさしさにあふれ 主を愛<sup>もの</sup>す者  
主が賜<sup>たま</sup>うものに <sup>た</sup>心満ち足り  
<sup>あめ</sup> <sup>ま</sup>